

## 第11回三条市立嵐南小学校校名等制定委員会会議録

- 1 開 会 平成25年7月29日(月) 午前10時
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席委員 宮菌委員長、上石委員長職務代理委員、宮原委員、杉野委員、小林知行委員、小野島委員、小林修委員、小越委員、阿部委員、関委員、石黒委員、鈴木委員、住吉委員
- 4 説明のための出席者  
池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋小中一貫教育推進課長、丸山教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長、野水教育総務課庶務係主任
- 5 傍聴人 4人
- 6 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 議 事  
校章デザイン採用作品の選定について
  - (3) 次回制定委員会の日程について
  - (4) その他
  - (5) 閉 会
- 7 審議の経過及び結果
  - (1) 開会  
(宮菌委員長)  
先週24日に引き続き、前回の会議から1週間たっておりませんが、本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。それでは開会に先立ちまして、教育部長より一言ご挨拶をいただきたいと思います。  
(教育部長)  
ただ今、委員長がおっしゃったとおり、先週に引き続きましてお忙しい中、全委員からお集まりいただきまして、大変感謝申し上げます。  
本日の議題については、あえて申し上げるまでもないと思っておりますが、先般、小林委員からご指摘をいただいた客観視できるような資料について、できる限り努力させていただいたところでございます。全体スケジュールの中で、本当に子どもたちのためにしっかりとご審議をいただき、一つのものにご決定いただければという思いでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(宮園委員長)

それでは、ただ今から第 11 回三条市立嵐南小学校校名等制定委員会を開催いたします。本日の会議の成立についてご報告申し上げます。本日の会議は委員 13 人全員の出席をいただいておりますので、三条市立嵐南小学校校名等制定委員会設置要綱第 5 条第 2 項の規定により、本日の会議が成立することをまず、ご報告申し上げます。

## (2) 議事

### 校章デザイン採用作品の選定について

大平教育総務課長が説明

(宮園委員長)

前回の会議で出された意見を基に、資料を追加していただきました。ただ今の説明につきまして、何かご発言ございますか。

それではないようですので、改めて採用したい作品とその理由について、各委員からご発言いただきたいと思います。では前回と同様の流れで宮原委員からお願いします。

(宮原委員)

かえって絞りづらくなりました。42 番は変わらないのですが、5 番の小を抜いたデザインと、163 番の字を抜いたデザインで絞りかねています。というのは、市内の学校の校章を見ていると、2 文字とか 3 文字というのはないのです。小さくなったときに字がつぶれるということがあるので、昔から複数文字がないのかと思っていました。最終的に 42 番が良いのですが、それ以外にも迷っているということで、あえて発言させていただきました。

(宮園委員長)

それでは、小林委員お願いします。

(小林知行委員)

私は、もともとのオリジナルのものからあえて白黒にしてもらいたい旨と、嵐南と嵐南小というデザインがあったのでそれを統一させる意味もあって、それぞれ小を付けたり付けなかったり、あるいは文字を抜いてみたデザインを事務局にお願いして作っていただいたのです。つまり文字を抜いたものは、マークとしての最も基本的なところが文字で隠れて見えなくなってしまうのはいけないと思ったので。皆さんこれを見てまた少しイメージが変わったのではないかと思います。

それで投票についてですが、私は 183 番を。このヒメサユリをモチーフにして円が三つ重なっているものが、左右シンメトリーで放射状に同角度で流れているということで最も安定感があり、円にしたときに方向性がほとんどずれても感じられないからです。

前回、私 163 番のヒメサユリで 3 方のことを考えたのですが、実はこの数日間ヒメサユリの実際の花を見て、花ということをきちんと表した方が良いだろうと考え

を改めました。

そして、ヒメサユリというのは、はたして三条にふさわしいかどうかというのは、まず三条の花であると決定されたことは紛れもない事実だということであります。昔、三条の花はひまわりと決まっておりましたが、あの時も確か多数決だったと思います。そんな決まったものをきちんと尊重していくべきなのだろうと思い、なおさら183番のしっかりとしたヒメサユリのモチーフをデザインしたものを私は選びました。

(宮園委員長)

では、小林委員お願いします。

(小林修委員)

私もここ数日考えましたが、考えは変わりませんでした。42番でお願いします。理由については前回と同じなので繰り返しません、前回は5番と42番で決めかねていました。宮原委員と同じように嵐南小の小がなくなった5番のデザインも捨てがたいと思います。42番なのですが、もう一つ選ぶなら5番の小を抜いたデザインが良いと思います。

(宮園委員長)

それでは、阿部委員お願いします。

(阿部委員)

前回の会議の関委員の話で、子どもがこれを見て42番はありえないということをおっしゃっていたことが、心に刺さりましたが、この前お話したような理由で他のものを消していくと、やはり42番が残ってしまうのです。これを白黒にしても、嵐南の「ら」という字に読み取れることもあって、やはり42番が良いと思いました。

もう一つ許していただけるなら183番。インターネットで色々な新設校の新しくできた校章を見ますと、やはり左右対象とかどちらから見ても同じ形、いわゆる安定感のある校章が非常に多かったのも、そういった意味からもし2番目にはと言われたら183番を推したいと思います。

(宮園委員長)

では、石黒委員お願いします。

(石黒委員)

183番でお願いします。当初163番と思っておりましたが、しばらく考えておりましたら、安定感があつた方が良く考えまして、183番になりました。

(宮園委員長)

では、住吉委員お願いします。

(住吉委員)

最初は小学校の小の字を抜いた5番と思っていたのですが、私も子どもが3人いるので聞いてみました。42番と183番で2対1で分かれました。2人は183番、1人が42番。42番を選んだ子は、小学生の子どもから見たら今までにない感じがして良いのではないかと言ったのです。それで最初の選定の時に、嵐南小学校の

イメージが表現されているのか、子どもたちに分かりやすくデザインされているのかとグランドデザインを見せていただいて、小中一貫教育のねらいにたくましくすこやかに生きる力と書いてあるのです。そして「つなぐ」をキーワードに見ていくと、5番か183番のところですごく悩んでいます。「つなぐ」ということは、左右対象ですっきりまとまったイメージに私は感じるので、娘の意見の2票で多かった183番にしたいと思います。

(宮藺委員長)

はい、分かりました。それでは、上石委員お願いします。

(上石委員)

今、与えられた資料を見させていただきますと、5番の小を取った嵐南という文字のデザインが、堂々としている感じがしました。42番も考えてみたのですが、私なりに考えれば嵐南と読みとれますが、子どもがこの校章の意味を読み取ることは難しいと思いますし、何となく安定感がない気がいたします。嵐南小学校の校旗を作った時に、どの学校よりも堂々として良いと思ったので5番にしました。

(宮藺委員長)

はい、ありがとうございます。では、杉野委員お願いします。

(杉野委員)

私は前回5番か42番で、5番を選んだのですが、今回は42番をお願いします。5番を選ぶとしたら、嵐南小の小を取ったものの方が良いと思いますが、安定感ではなく躍動感を選びたいと思いました。あと、文字がないマークとしても見劣りしないという意味で42番にさせていただきました。

(宮藺委員長)

はい、それでは小野島委員。

(小野島委員)

42番をお願いします。理由は、前々回も申し上げましたが、私の立場から新しい学校の子どもたちに一番期待しているのは、夢や希望を持ってがんばる子であるということをお話しました。5番の小を取ったものも捨てがたいですし、183番の丁寧なデザインも捨てがたいですが、5番のイメージは、先ほど上石委員もおっしゃいましたが、力強いとか堂々としたというイメージになります。夢や希望を持ってほしいということを考えると、私は42番が良いと思いました。

(宮藺委員長)

はい、では小越委員お願いします。

(小越委員)

誠に申し訳ないのですが、今朝自分で決めかねて、社員に聞いてみました。安定して一番良いのが183番ではないかと言われました。

(宮藺委員長)

では、関委員お願いします。

(関委員)

私は183番が良いと思います。最初から言っているのですが、子どもが付けたらこれかなというイメージですね。

(宮菌委員長)

それでは、鈴木委員お願いします。

(鈴木委員)

前は5番をあげさせてもらいました。本当にどれも素晴らしくて悩んだのですが、今手元のデザインを見て、42番以外は嵐南とか嵐南小という言葉が入っていません。小学生が42番の校章を見たときに、どういうイメージを持つのか説明を聞かなければ分からないと思いますので、嵐南小という文字が入っていてストレートに意味が分かる形が良いのか。最終的には前回と同じ5番で、できたら小の文字をいれたものでいきたいと思いました。

(宮菌委員長)

一通り委員全員から意見を述べていただきました。これから議論を進めていくにあたって、まず確認していきたいと思いますが、163番は今回推薦がありませんので、これをまず除いていくことでよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし163番を除くことで決定

(宮菌委員長)

現在、42番、183番が同数で5票、5番が2票となっております。

5番に小を付けるという意見と付けないという意見がありました。少数意見ですが、そこをもう少し補足していくことと、もう一つは嵐南の文字が入っているものが良いのか、それとも文字のない抽象性はあると思いますが、子どもたちがそれを理解していくプロセスをどこかで教えていくというのが良いのか、そこらへんも含めて議論していただければと思います。

(上石委員)

私は、5番は単純に子どもが見て良いと思うのです。42番はある程度知識がなければ理解できません。想像あるいは将来に向けての色々な躍動感と考えればそうなるのかもしれませんが、小学1・2年生がこのマークを書いたものだけ見ても、分からないと思います。嵐南と入っていれば、自分が嵐南小学校に入ったんだと思えるし、文字そのものが訴える力があるのではないかと考えておりますので、私は嵐南あるいは嵐南小と入った5番にしたいということです。

(宮菌委員長)

はい、鈴木委員はいかがでしょう。

(鈴木委員)

参考になるか分かりませんが、今年の春、胎内小学校が新しく校章を作ったのですが、新聞報道で見ましたところ小の文字が入っていました。小学校の校章だということを考えて作られたのだろうと判断して、小の文字が入った方が良いのではないかと考えました。

(宮園委員長)

今ほど2人の委員からご意見をいただきましたが、それについて何か質問とかいかがでしょうか。

合意を限りなく目指していくということでしたが、前回の審議の進め方として、それがどうしても難しいようでしたら、多数決という形で進めていくことで了解いただいております。ということで、今の説明を聞いて5番に代えたという方がもしいらっしゃるようでしたらここで修正をしていきますが、ないようでしたら、42番と183番の2つに絞って議論を進めるということで何かご意見はございますでしょうか。

(池浦教育部長)

客観的に聞きしていて、校章についてのそれぞれの委員のご意見や思いというのは、前回そして今回で十分とは言い切れませんが、お出しいただいたという思いがしております。そしてあいさつでも申しあげましたが、今後のスケジュールを考えますと、何とか今日ご決定いただきたいところが、事務局の正直な思いであります。それを含めまして前回委員長から今回決まらない場合については、投票し決定するものというご提案でご了承いただきました。これを見ますと、拮抗してなかなか難しい面もございますし、それぞれの委員の思いというのはなかなか変えられないという気持ちもございますので、もし差し支えなければ投票をしていただくと比較的やりやすいのかと思います。手をあげていただくというのは、これだけご意見が出ますと難しいかと思っておりますので、少し休憩を取っていただいて、その間に投票用紙なども用意したいと思っております。

(宮園委員長)

42番と183番の2つに絞って、そのうえで投票という形で進めることでよろしいでしょうか。それとも、5番を含めた3点で投票した方がよろしいでしょうか。

(鈴木委員)

今、皆さんから意見を聞いてこうなったのですから、42番と183番に絞っても良いのではないのでしょうか。

(宮園委員長)

では、2点に絞り無記名で投票するという形でよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし2点に絞り無記名で投票することで決定

もう少し議論した方が良いのかと思っておりますので、いかがでしょうか。

(小林知行委員)

2つということであれば、そこら辺の理由だとかを、きっちりと我々が理解しないといけないと思います。ゆえに、そこに書き出して、書き出したものを見比べて、しっかりと認識されたらいかがかと思っております。

(宮園委員長)

先ほど出た意見は、42番はグランドデザインにある「たくましく力強く」という

こと、あとは夢や希望を持ってがんばるという目標を伝えていきたいというご意見がありました。それに対して反対意見としては、子どもが理解することは難しいという意見がありました。183 番につきましては、安定感があること、そして市の花であるということ意識しても良いのではないかという意見がありました。あと、いかがでしょうか。

(小越委員)

社内で出た話なのですが、この 183 番の場合はマークの目的が本当にスマートに分かりやすいと。三つの輪が三条市、そして三つの学校が一緒になる、そして嵐南、ヒメサユリという目的がわかりやすいという理由で、私は 183 番にしました。

42 番は、なかなか理解できないのです。会社のマークと同じで、何をやりたいかマークに盛り込まれていないといけないわけです。42 番は、分かりづらいということでした。

(宮藺委員長)

今、そういう意見がございましたけれども、42 番で夢や希望をもってがんばるということ子どもたちに伝えていけるのではないかということについて、42 番を推薦した方、いかがでしょうか。

(阿部委員)

小越委員の話をお聞きして、会社のマークというと企業としての目的、あるいは製造している会社であればその製品とかそういったものを意識してもらってデザインになると思うのですが、学校の場合、それにあたるものは何だろうと考えると、ランドデザインの中にあるわけです。例えば、ペンをかたどった校章というものはよくあります。やはり学校は勉強するところということなのだと思います。42 番のデザインは、もちろん勉学も含めて将来この子どもたちが大きく育っていくという、目的を持ち、そういうことを表しているかと思います。鳥が飛んでいくようなデザインも含まれているようですし、新しい学校のランドデザインにも沿っているのではないかという感じがしますので、どちらかといえば 42 番が良いと思いました。

(石黒委員)

183 番のヒメサユリで悪いのかということをお聞きしたいです。前に下田の花でなじめないという話がありました。

もう一つ 42 番は、私の聞き違いでなければ、このデザインはかなり前に流行ったデザインだと聞こえたのですが、いかがでしょうか、小林委員。

(小林知行委員)

そうです、42 番のデザインは 1980 年代に流行ったデザインの流れです。今このデザインを採用しているところもありますが、少し古さは否めないです。新しく見えるのか、古く見えるのかは、その観点によると思いますけれども、デザイン的に考えた場合は、少し古いです。

(石黒委員)

私たちは素人なのではっきりとは分かりませんが、古いデザインはやめようじゃ

ないかという単純なことで良いのではないのでしょうか。

もう一つ、ヒメサユリがなじめなかったら、なじむようにすれば良いのではないのでしょうか。

(小林知行委員)

では、42番と183番について少しデザイン的なことでお話します。

42番は1980年代から90年代の企業のCIが盛んだった頃のイメージが色濃く残っています。これは、悪い言い方をすると古い、はっきり言って非常に古いです。こういうマークは、ほぼ今使われなくなっています。ただ良い言い方をすると、非常になじんでいるということ、分かりやすいということです。

では、183番のデザイン的な話で、これが新しいか古いかというと、どちらにも属さないです。これは、オーソドックスな形です。コンセプトというものは必ずマークには必要です。それは企業であっても学校であってもどんなところでも同じです。グランドデザインがきちんと表されているかどうかということであると思いますが、小越委員がおっしゃったように、非常にシンプルで分かりやすいというのは時代感にあっているのではないかと思います。

そしてもう一つ、コンセプトという点なのですが、42番の校章デザインの説明を何度も読んでいるのですが、分かりにくいというよりこれ多分文章ではないです。例えば、ここに「ら・ん・な・ん」という文字、とありますけれども、さっきからずっと探していますが、どこにこの文字が入っているのかよく分かりません。キリンビールのマークの中にキリンと隠されているように、どこかにあるのかもしれませんが。そういった何かコンセプトがマークに入り込んでいるのであれば、42番もバックボーンとした備えは十分だと思うのですが、分かりにくいという点では複雑というより、意味不明だと思いました。

それと、嵐南小なのか、小だけなのか、嵐南だけなのかという点で、こうやって事務局からわざと文字を抜いたものを作っていたのは、マークとして見てただきたかったからであり、ではそれが嵐南なのか嵐南小なのかという議論は別にした方が、もしかしたら良いのではないかと思います。なぜかという、これもデザイン的な問題なのですが、たぶんここ10年もしくは20年くらいでコーポレートアイデンティティといった、団体だとか集団、会社そしてブランドに対するアイデンティティを表すものが、マークから文字に移っていています。例えば、皆さんご承知のルイビトンというマークがありますけれども、LとVが一緒になっているマークですが、このマークは最近ほぼ使っていないです。文字だけを使うようになっています。グッチというブランドがあります。Gという文字が二つ重なったマークですが、こちらは今ほぼ使っていないで、文字だけです。同じようにボッテガヴェネタというブランドがありますが、マークさえなくなりました。マークに重きを置かなくなった時代になっています。ただその時にシンボルとしての校章が必要であるということであれば、必要最低限コンセプトをきっちりとまとめることが必要だと思います。それは、グランドデザインであり、皆さんの思いであるというこ



とが必要なんだと思います。なぜかという、このマークについてももちろん質問もされるでしょうし、子どもたちからも問われます。そして子どもたちもそれをちゃんと自分の思いに取り込んでいかなければいけないと思うからです。

(宮園委員長)

ほかにこの2つについて、意見を言いたいという方はいらっしゃいますか。あるいは、今の小林委員の説明に対しての質問などはありますか。

(上石委員)

183番は、先ほどからグランドデザインと言われて私も考えたのですが、確かに学校、地域、父兄そして三つの小学校の子ども、これが嵐南というところにみんな結びついて一つの形となっていると考え、これもいいなと思ったのですが、ヒメサユリが引っかかっていたので、最初は除きました。市の花ということであればそれはそれで良いと思いますが、せめて子どもたちがヒメサユリの花の匂いの中、あるいは花に多少なりとも触れることができる環境であるなら良いのでしょうか、嵐南小学校の建つ地域は平地でございますので、そこから車で30分から40分かけていかなければ見られない花だと思いました。

そして42番は、説明しなければ分からないようなマークであれば、ただのマークでしかないと思います。これから子どもが理解できるような、夢と希望のあるものであれば、もっと素晴らしいものであってほしいなど。このマークを見て、自分で考えれば「らんなん」と読めるような気もしますが、グランドデザインからすれば、私も183番の方が良いと思います。42番はただのマークとしてなら良いかもしれませんが、これからずっと続く学校なら、誰が見ても理解できるような校章であってほしいと思います。

(宮園委員長)

ほかにご意見はありますか。ないようでしたらここで投票を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし投票とすることに決定

(宮園委員長)

それでは、これから投票を行いたいと思いますが、その前に確認しておきたい事項があります。まず投票結果につきましては、多数決で決めるということで、同数の場合は、委員長が投票するという形でいきたいと思いますがよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし同数の場合委員長が投票することで決定

(宮園委員長)

それでは、これから投票していただく作品は42番と183番、この二つの候補について投票をお願いします。投票用紙がございますので、そこに番号を記入してください。

——投票——

(宮菌委員長)

それでは結果を発表します。183番、8票です。42番、4票です。

以上の投票結果によりまして、本委員会におきます校章候補、作品番号183番の校章デザインを採用作品に決定いたしました。

(宮原委員)

委員長、183番で良いのですが、色が三つあり嵐南というものと嵐南小というものが提示資料にあります。嵐南だけでよろしいでしょうか。

(宮菌委員長)

オリジナルは黒とエンジの2色ですね。これについては、専門家の補正など依頼する時に出てくるかと思うのですが、そちらに任せることになるのでしょうか。

(池浦教育部長)

先ほどご意見を伺っていて、ここでぜひとも固めていただきたいのが、色まで決めていただければ一番良いのですが、まずは嵐南小なのか嵐南なのか、そこをご議論していただきたいと思います。

(宮菌委員長)

応募していただいた方のデザインは、嵐南というデザインで小の文字は入っていませんけれども、この原案のとおりでよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし文字は嵐南とすることに決定

(宮菌委員長)

あとは、色の配置というところでもう少しご意見をいただいて、今後、専門家へ補正を依頼するときに参考にできればと思いますが、いかがでしょうか。

(小林知行委員)

マークと一緒に使い方の規定が、色々細かく必要かと思えます。たとえばこの色、スクールカラーとかあると思うのですが、それがここに反映されるのかどうか。それと、この嵐南という文字、てん書体でデザインされておりますが、てん書体といっても色々あるので、このままオリジナルなのか若干の修正が必要なのか、あるいはまったく違う形が必要になるのか。よく見るとこの嵐南という文字は、左右対象ではないのです。それを左右対象にする必要があるのかどうかということもあると思います。

そして先ほどもお話をさせていただきましたが、マークだけでなく文字、ロゴに対応する時代となっております。それは多分、学校でも同様だと思います。ですので、せっかく専門家に相談されるなら、校内の文書、あるいは外に出す文書のフォント、いわゆる文字のデザインというものを全部トータルで考えていけば、しっかりした使い方ができるようになるのではないかと考えております。

ちなみに会社でも、全く同じことをします。同じ会社から文書もしくはメールが

届くたびに、違うデザインの文字が来たら、ちゃんとこの会社から来たのだということ認識してもらえないからです。違う色を使うと、ますます混乱が生じてしまいます。学校も恐らく同じだと思います。その辺は、補正で専門家のご意見、そして使い方など、この委員会とは別で考えていただければと思いました。

(宮園委員長)

ほかに、ご意見ございますか。ないようでしたら、これまでの意見を踏まえて、事務局預かりという形で進めていただいでよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし補正は事務局に一任することに決定

**(3) 第12回制定委員会の日程について**

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日時 平成25年12月中

開催時期が近くなり次第、追って連絡

**8 閉 会** 午前11時12分